



2026 年 8 月 3 日

各 位

会 社 名 クリヤマホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役 CEO 小 貫 成 彦
(コード番号 3355 東証スタンダード)
問合せ先 執行役員 元 木 雄 三
(TEL 06 - 6910 - 7013)

2026 年 12 月期第 2 四半期（中間期）連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は最近の業績動向を踏まえ、2026 年 2 月 13 日に公表いたしました第 2 四半期（中間期）連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

(1) 2026 年 12 月期第 2 四半期（中間期）連結業績予想数値（2026 年 1 月 1 日～2026 年 6 月 30 日）

	売 上 高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1 株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 （ A ）	48,000	2,700	2,800	2,000	101.42
今 回 修 正 予 想 （ B ）	51,310	3,604	4,043	2,740	138.99
増 減 額 （ B － A ）	3,310	904	1,243	740	
増 減 率 （ % ）	6.9	33.5	44.4	37.0	
（ご参考）前期第 2 四半期実績 （2025 年 12 月期第 2 四半期）	43,284	2,595	2,937	2,626	133.67

（注）前中間連結会計期間において行われた企業結合に係る暫定的な会計処理が前連結会計年度末に確定しており、前期第 2 四半期実績数値は、暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の重要な見直しが反映された後の金額となっております。

(2) 修正の理由

2026 年 12 月期第 2 四半期（中間期）連結業績予想につきまして、産業資材事業においては、農機・建機の需要が総じて底堅く推移する中、顧客の生産活動が堅調であったことから、販売が想定を上回りました。北米事業においては、販売価格の適正化に取り組んだことに加え、過年度に負担した米国関税の還付を受けたことにより、営業利益が大幅に増加しました。欧州・南米・オセアニア事業においては、欧州地域における消防用ホースの販売増加が収益性に寄与しました。

この結果、売上高、営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する中間純利益は、いずれも前回発表予想を上回る見込みとなったことから、業績予想を上方修正いたしました。

尚、2026 年 12 月期の通期業績予想につきましては、地政学的リスクの高まりや今後の需要動向、エネルギー・原材料価格の動向など、依然として先行き不透明な事業環境が継続していることから、現時点で前回公表予想を据え置いております。今後、業績に重大な影響が見込まれると判断した場合には、速やかに開示いたします。

以上